

お元気ですか

つかじさちの

第771号

のメール便

日本共産党高知県議会活動報告 2015年 8月2日発行
電話 088-823-9524 (議会控室)
088-843-9281 (自宅)



宿毛湾港の“軍事化”を調査

7月15日、仁比羅川へい参院議員を介して、防衛省防衛政策局防衛計画課の職員と面談。宿毛市長などが誘導を要望している「統合」近隣作戦根拠地とは、どのような機能と規模のものか、宿毛市警対の要望をどう受け止めているか、質問。職員は「そのような用語は防衛省にはない。要望は慎重に検討する」と回答。目が離れません。

防衛省職員から聞き取り



戦争法案に反対する 高知市中央公園抗議行動

D × PEDAL
100% (戦争法案に抗う高知県学生の手)

「戦争法案絶対反対」と唱和するデモ参加者—25日、高知市

高知の青年でつくる「ピースパイオニアーズ」と戦争法案に抗(あらが)う高知県学生の手(会 PEDAL)が共同で25日、高知市の商店街をデモ行進しました。歩いた150人のうち三分の一は、主催者と面識のない青年らで、街頭のビラやネットを見ての参加です。出発集会で、塚地伸平実行委員長(26)は「戦争をせず、話し合いで解決するのは決して『平和ボケ』ではない。過去の戦争を反省せず、同じ悲劇を繰り返すことの方が問題」とあいさつ。PEDALの一人で沖縄出身の藤原奈穂さん(19)は祖父母に聞いた沖縄戦を紹介し、「憲法9条こそ、抑止力。9条の価値を自覚してほしい」と訴えました。宣伝でデモを知り、「賛成か反対か迷っている。同世代の意見が聞きたい」と初めてデモに参加したのは、高知大学の男子学生。100分の考えをまっすぐ訴えています。

高知

返すことの方が問題」とあいさつ。PEDALの一人で沖縄出身の藤原奈穂さん(19)は祖父母に聞いた沖縄戦を紹介し、「憲法9条こそ、抑止力。9条の価値を自覚してほしい」と訴えました。宣伝でデモを知り、「賛成か反対か迷っている。同世代の意見が聞きたい」と初めてデモに参加したのは、高知大学の男子学生。100分の考えをまっすぐ訴えています。

7月26日付 赤旗

地方からも若者の声を、9条こそ抑止力



(参議院議員会館にて7/15)

なるがも日記

No. 769

地域のみなさんが守り続けている
伝統と文化あふれる“夏まつり”

毎年7月24日に行われる朝倉神社の夏の大祭。絵師金蔵のみすま絵が飾られます。



今年の夏、あんなに「雑草(あらぐさ)の声」が耳にノリと響きました。昨年の夏、安倍首相の政権が集団的自衛権の行使と容認した閣議決定をめぐって国民は認めない、と確信していたからです。国会周辺では毎日、数千人の人たちがつめかけ、全国各地で、老若男女、各層、各界の人たちが「戦争法案反対の声」と、まことに轟かせています。